

平成30年度予算見積調書

課室名: 会計課

担当名: 予算係

内線: 2235

(単位: 千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B2	サイバー犯罪等事態対処能力の強化		一般会計	警察費	警察活動費	警察活動費	一般活動費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	警察法第2条		宣言項目			
					分野施策	020410 防犯対策の推進と捜査活動の強化		
1 事業の概要			5 事業説明					
<p>産学官が連携し、サイバー空間における防犯意識の向上を図るとともに、サイバー関連事犯に対する事態対処能力を強化する。</p> <p>(1) サイバー空間の安全とモラルの確立 4,484千円</p> <p>(2) サイバー犯罪対処能力向上に資する捜査力の強化 16,655千円</p> <p>(3) 解析をはじめとする各種捜査資機材の増強 114千円</p> <p>(4) サイバー犯罪捜査力の強化 123千円</p> <p>(5) サイバー空間の脅威への対処に係る組織基盤の強化 409千円</p>			<p>(1) 事業内容</p> <p>ア サイバー空間の安全とモラルの確立 4,484千円 協議会、民間活力の活用促進、有識者への囑託</p> <p>イ サイバー犯罪対処能力向上に資する捜査力の強化 16,655千円 捜査員の裾野の拡大、スペシャリストの育成</p> <p>ウ 解析をはじめとする各種捜査資機材の増強 114千円 解析用パソコンの増強</p> <p>エ サイバー犯罪捜査力の強化 123千円 情報収集・追跡用通信料</p> <p>オ サイバー空間の脅威への対処に係る組織基盤の強化 409千円 シールドボックスの整備</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 産学官が連携し、サイバー空間における全国一の防犯共助県づくりを推進する。</p> <p>イ サイバー空間において、様々な事態に対処できるようサイバー犯罪対処能力の強化を図る。</p> <p>ウ サイバー犯罪に対する解析力の向上を図る。</p> <p>エ サイバー空間における追跡能力及び情報収集能力の向上を図る。</p> <p>オ 証拠資料の確実な保全を講じるための資機材を整備する。</p> <p>(3) 事業効果</p> <p>県民のインターネット利用に関する規範意識・防犯意識の醸成が図れるとともに、捜査の効率化対策を推進することにより、全国一の事態対処能力を確保して、検挙能力の維持、向上を図ることができる。</p> <p>(4) その他</p> <p>【前年度からの変更事項】</p> <p>A経費「一般警察活動費」へ10,185千円を移行（各種資機材に係る使用賃借料）</p> <p>B経費「刑事警察費」へ26,090千円を移行（携帯電話解析装置等）</p>					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） （区分）警察費（細目）警察管理費 （細節）警察職員費（積算内容）サイバー犯罪対策 テクニカルアドバイザー								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員								
予算額			財 源 内 訳				一般財源	前年との 対比
決定額	21,785						21,785	△38,336
前年額	60,121						60,121	